

## ■ 講師

**馬場 太一郎（ばば たいちろう）**  
株式会社富士クリーン 代表取締役社長

## 【略 歴】

昭和 57 年	綾川町（旧綾上町）出身
平成 17 年	金沢工業大学工学部 環境システム工学科卒業
〃	ケイヒン株式会社（貿易業・東証スタンダード(旧東証一部) 上場企業）入社
平成 20 年	渡米
平成 23 年	ゴールデンゲート大学大学院 MS IMC 卒業
平成 27 年	同大学 MBA International Business 卒業
平成 28 年	株式会社富士クリーンに帰社

## 【紹 介】

弊社は、約半世紀にわたってごみを適正、安全処理をモットーに、収集運搬から、各種中間処理、最終処分と一貫したサービスを皆様に提案してまいりました。今後の産業廃棄物処理業に求められることは地球にやさしい資源を生み出すことです。廃棄物は資源であり、処理の過程において再生エネルギーを生み出すことができるか。この課題にこの先の 50 年挑戦してまいります。

2018 年に完成した、国内初の縦型乾式メタン発酵施設は、有機物系廃棄物から、メタンガスを回収し、熱エネルギー、再生電力を創り出します。環境にやさしい renewable energy を地域の産業に供給し、環境にやさしいモノづくりをテーマに、社会の循環の輪に貢献していきます。

## ■ 講義概要

**地域企業の役割とその先にあるビジョン**

地域経済の中でどのように企業価値を創造するのか。これは地方地域で活動している企業には、とても重要な事です。SWOT 分析から見る客観的な分析は、自社の内部改革と外部環境への柔軟性（適合力）を高めるには最低限必要な事です。

様々な要因が絡む現代社会で自社らしさ、業界他社との差別化が地域企業の大きな武器になることを講義の中でお伝えします。